

# 2015(平成 27)年度 事業計画

認定特定非営利活動法人 野生生物保全論研究会 (JWCS)

## 1. 研究会運営

### (1) 公開理論研究会

6月13日話題提供：古沢広祐理事「自然界における人間存在を問う」(武蔵野プレイス)

### (2) 上記を会報に掲載

## 2. 調査提言

(1) CITES、生物多様性条約など国際会議および世界の野生生物の状況を情報収集 (継続)

(2) CBD 愛知目標 3 (奨励措置改革) および目標 20 (人・技術・資金の動員) の研究 (発展)

過去 3 年間の研究を発展させ、補助金など奨励措置だけでなく、人・技術・公的資金及び民間資金を生物多様性保全に向けるため、現場の声を収集し提言にする。【助成金申請】

【IUCN 日本委員会にじゅうまるプロジェクト登録事業】

(3) 日本の消費と CITES・種の保存法 (国際希少動植物) に関する研究・提言 (発展)

【助成金申請】

## 3. 生息地支援

JX 日鉱日石エネルギー (ENEOS) からの寄付により、ゴリラの生息地で保全活動を行っている WCS コンゴとポレポレ基金を支援 (継続)

## 4. 普及啓発

(1) 調査提言事業および翻訳ボランティアのご協力により得た、消費と絶滅に関する情報をウェブサイト、印刷物等で情報発信する。英訳による発信も行う (継続)

【IUCN 日本委員会にじゅうまるプロジェクト登録事業】

(2) セミナーの開催

生物多様性と消費に関するセミナーの開催 (新規)

【武蔵野市特定非営利活動法人補助金交付事業】

(3) IUCN 日本委員会にじゅうまるプロジェクトの登録団体としてイベントに協力 (継続)

7月 IUCN 親善大使のイルカさんコンサートにポスター展示

エコプロダクツ「生物多様性ナレッジスクエア」(NGO の共同展示)

(4) 講師派遣およびパネルや動画などの貸し出し

「生物多様性と消費」シリーズのポスター化 (新規)

【助成金申請】

(5) メールマガジン、ウェブサイトなど電子媒体による発信 (継続)

## 5. 国際会議参画

(1) IUCN、SSN、CBD ネットワークなど国際団体のメンバーとして情報収集と情報発信 (継続)

## 6. 会報発行

年 3 回発行 (継続)

## 7. NPO 運営

認定 NPO を取得したことを活かした会員・寄付拡大を行う。入会案内を新しくする  
セミナー収入・講師派遣料の拡大を試みる

<補足>助成金申請事業は、助成金が得られた後、確定した金額を補正予算に計上する